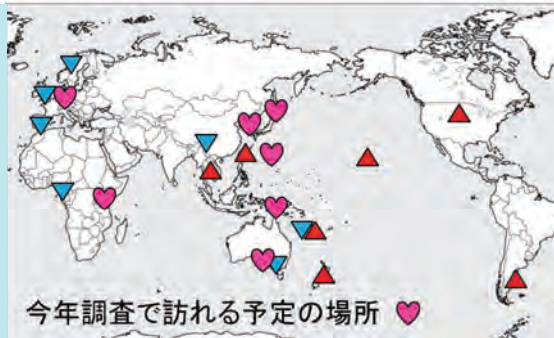


バーコードから見えてくる きのこのこの世界



2009年に調査で訪れた場所 ▲
2010年に調査で訪れた場所 ▼



これまで数年間、世界中の様々な国できのこのこの調査を行いました。集まった標本は3000点以上！そのほぼ全てを「バーコード化」しました。

バーコードときのこ、とは言ってもスーパーでの買い物の話をしているのではありません！『DNAバーコード』と呼ばれる技術のことです。

DNAバーコードとは？

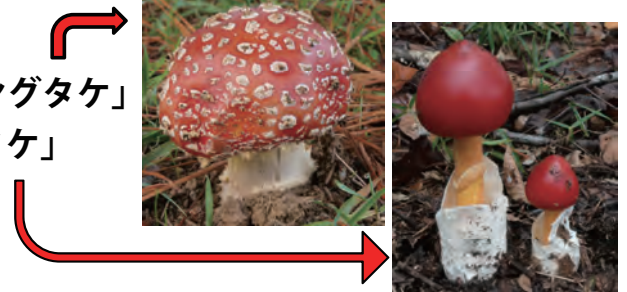
全ての生き物はDNAという遺伝情報を担う物質を持っています。DNAはA, G, C, Tというたった4つの塩基とよばれる化合物でできています。この4つの塩基は生き物の種類によって様々な異なる並び方をしてしています。塩基の並び方で地球上の全ての生き物を特定するのがDNAバーコードと呼ばれる方法なのです。

例えば…

AGCTTTTGGCCCACACACTG.....であれば「ベニテングタケ」

AGCTTTGCGCCCACGTACCC.....であれば「タマゴタケ」

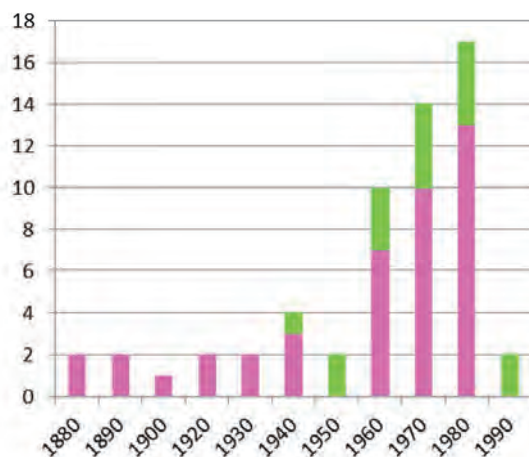
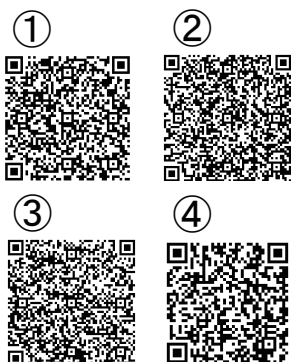
という感じです。



きのこのDNAバーコード化が進めば、世界中のきのこをあっという間に見分けられます！



現在は国立科学博物館に収蔵されている標本の中でも特に重要なタイプ標本からDNAを採りバーコード化を進めています。



ただし...
古い標本はなかなかうまくいきません。横軸に標本の採集された年代、縦軸に標本の個数を示しました。緑がDNAの抽出に成功した個数、ピンクがうまくいかなかった個数です。



植物研究部
保坂健太郎

